

和光市のまちづくりが

埼玉版スーパー・シティプロジェクトに位置づけられました！

市が進めているまちづくりの取組が、令和4年1月31日に和光市版スーパーシティ構想として、埼玉版スーパー・シティプロジェクトに位置づけられました。安心して毎日を過ごせる居心地の良いまちの実現を目指して、県と一緒に取り組んでまいります。

和光市版
スーパーシティ構想

和光市のまちづくり

市内の拠点を結び

時間軸での都市のコンパクト化

埼玉版スーパー・シティプロジェクトとは

埼玉版スーパー・シティプロジェクトは、超少子高齢化社会の様々な課題に対応するため、コンパクト、スマート、レジリエントを3つの要素とする持続可能なまちづくりに市町村とともに取り組むプロジェクトです。

和光市版スーパーシティ構想とは

新たに整備を予定している駅北側の交通拠点と和光北インターチェンジ周辺の産業拠点をはじめ、市内の公共施設、医療施設や商業施設などの拠点を結び和光版 MaaS を構築します。これらの市内の各拠点が有機的に結ばれたコンパクトな都市づくりを推進するものです。



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」
和光市イメージキャラクター「わこうっち」

和光市版スーパーシティ構想における3つの要素

【コンパクト】

新たな交通システムによる都市機能の集積

▶新たな交通システムで市内の拠点を結び、時間軸での都市のコンパクト化を図ります。

【スマート】

拠点を結ぶ自動運転サービスの導入

▶市内の世界的自動車企業等と連携し、次世代の交通システムを含む和光版 MaaS を構築します。

【レジリエント】

安定的な自動運転サービスに向けたエネルギー供給

▶再生可能エネルギーを災害時の代替エネルギーとして活用します。

【意見募集】

和光市版スーパーシティ構想の推進に当たって、市民の皆さんの意見・質問を募集しています。



問い合わせ先: 和光市 政策課

メールアドレス: a0200@city.wako.lg.jp

電話番号: 048-424-9086



©和光市

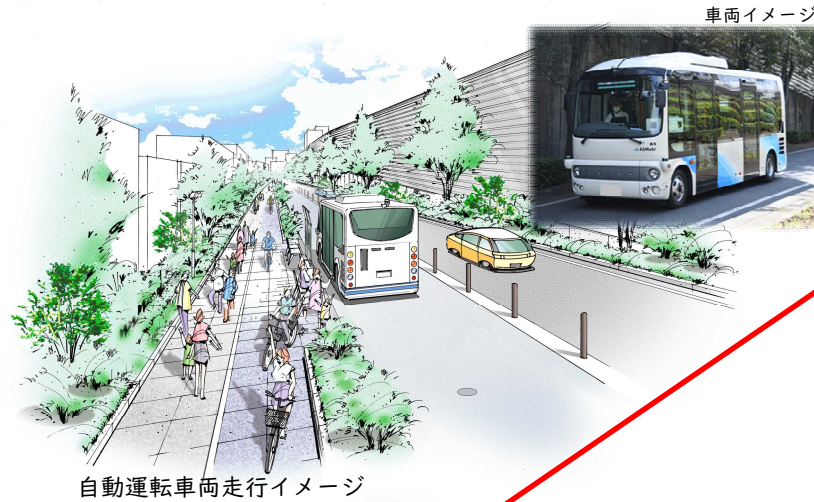
わこうしの未来予想図 ～和光市版スーパーシティ構想の取組～

和光版MaaSの推進

和光市では、高齢化社会に備えて「全ての市民の移動の自由」を確保するため、先進技術の導入を進め、地域公共交通の充実を推進しています。

※自動運転は「和光市駅」～「東京外環自動車道・和光北インターチェンジ周辺」を走行予定。

先端技術である自動運転技術や情報通信技術（MaaS アプリ等）を活用し、多様なモビリティを最適に組み合わせて、市内の移動しやすさの向上を目指します。



和光北インター周辺の交通渋滞の緩和

一般国道 254 号バイパスの延伸（松ノ木島交差点～吹上観音前交差点）により、大型車両の生活道路への流入が減少するだけでなく、東京外環自動車道・和光北インターチェンジ周辺における交通渋滞の緩和が図られます。



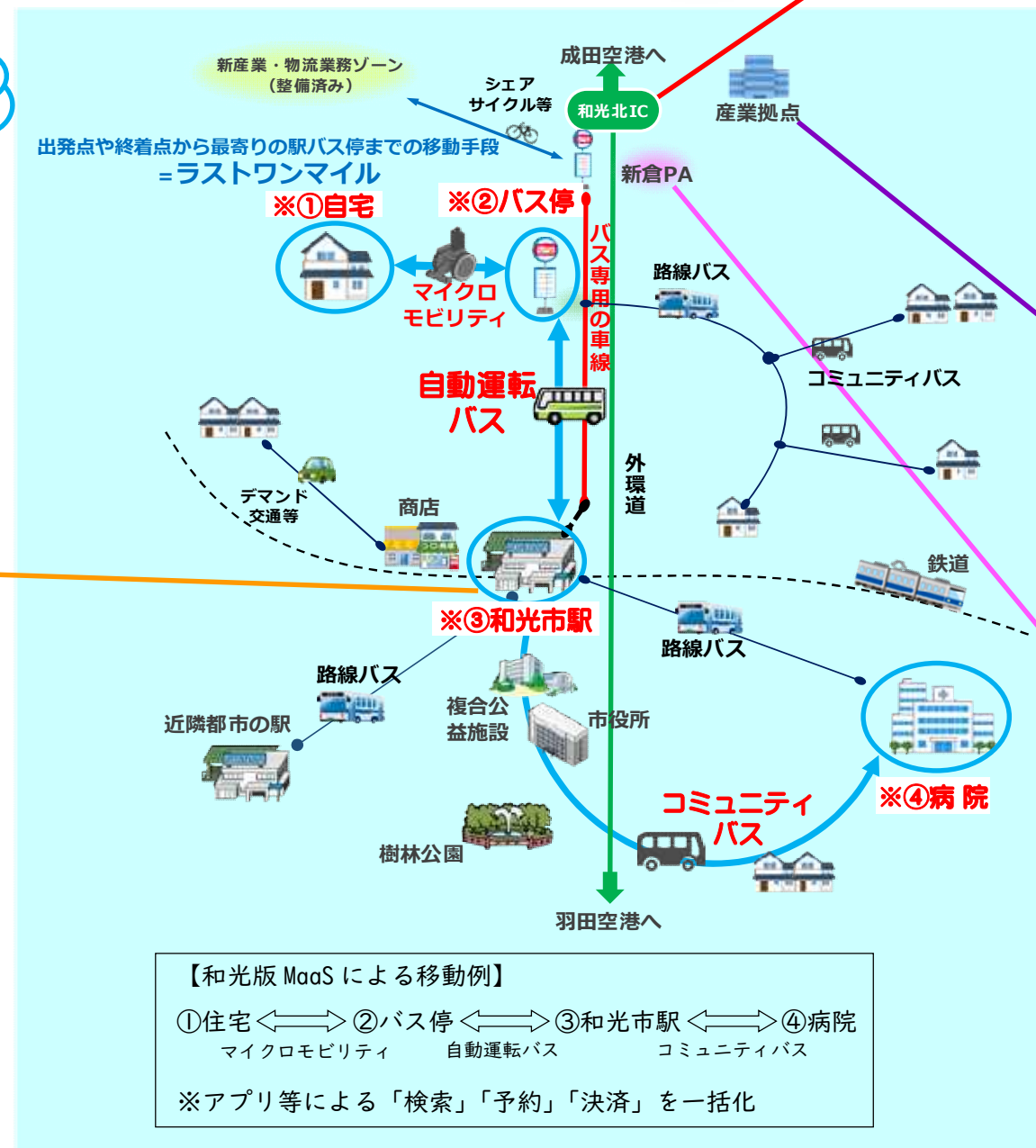
新たな産業拠点の創出

一般国道 254 号バイパス延伸に伴い高まる交通利便性を活かし、東京外環自動車道・和光北インターチェンジの東側に、環境・情報分野などの新産業や物流関連施設、店舗などの沿道サービス施設の立地を推進し、地域の活性化を図ります。

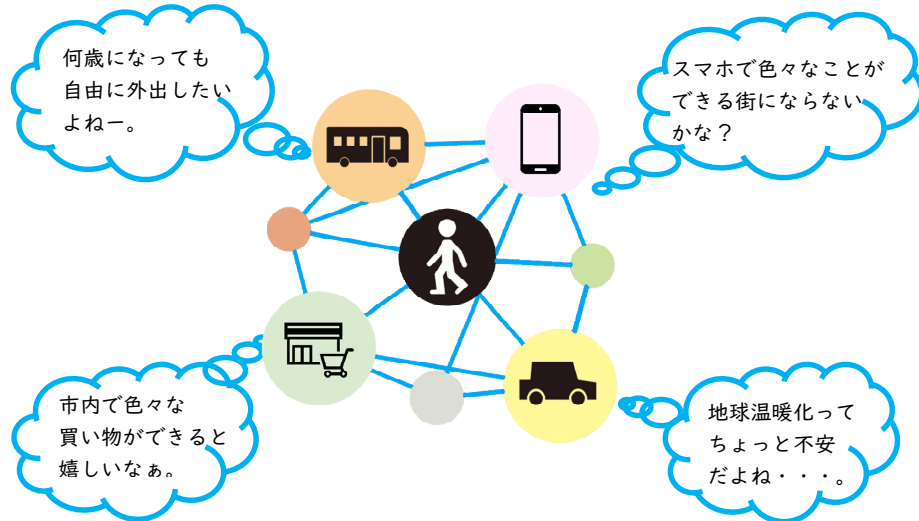
新倉 PA の拡張の推進

東京外環自動車道・新倉パーキングエリアの拡張に併せて、地域振興拠点化を目指し、市北部地域の活性化を図ります。

和光版 MaaS を中心とした市内全体のネットワーク化により、コンパクトで自立した都市づくりを推進し、来る高齢化社会に対応したまちの実現を目指します。



スマート交通システムによる課題解決イメージ



和光市駅周辺の魅力の向上

和光市駅北口において、低層階を「商業施設などの賑わい施設」、高層階を「住宅」とする駅直結型の建物の建築を推進しています。また駅と駅前広場をつなぐ屋内の広場空間である連絡通路を備えることで和光市駅北口周辺が新たに生まれ変わります。

